



夏休み明け間近の8月22日、第6回学校運営協議会が開催されました。
学校の近況が報告され、意見交換が行われました。

協議内容：学力・学習状況調査について

* 全国、県の平均正答率を上回っている *

《国語》

- * 「情報の扱い方に関する事項」が特に上回っている。
- * 「書くこと」が、全国・県の平均正答率を下回っている。
- ・ ここ3年間、全国平均を上回っており、無回答率がとても少ない。

《算数》

- * 図形が、全体の項目で一番正答率が高い
- * 測定の領域と変化と関係の領域が、全国平均とほぼ同率
- ・ 正答率の高い層が年々増加している。

《児童質問紙より》

質問：自分には良いところがあると思いますか。

回答：90%近くの児童が「よいところがある」と回答。

** 学力向上と生きる力の充実が認められる **

質問：授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、
お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか

回答：約94%の児童が「協力しながら課題の解決に取り組んでいる」
と回答

** 今年度の重点目標、

「目標をもち、仲間と協力し合いながら最後まで粘り強くやりぬく力」
につながっている**

地域・学校・PTA 合同研修会

学校運営協議会と同日に、地域・学校・PTA 共同で、
「子どもを真ん中においた不登校支援」と題して、研修会が
行われました。

学校運営協議会委員の皆さまにもご参加いただきました。

研修会では、講師に不登校生徒の保護会「ぼちぼちの会」会長(元福岡市中学校長)の木村素也さんをお迎えして、地域・学校・保護者がグループを作り、グループワークを通して、それぞれの立場から不登校についての関わり方を学びました。



ご参加いただきありがとうございました！

次回の協議会開催は12月を予定しております